

7 金融リテラシー向上や金融 犯罪被害防止に向けた取組

お金の知識や判断力が身につく金融経済教室、投資詐欺など金融犯罪の手口や対処法をわかりやすく説明した金融犯罪防止講座を実施しています。

まちの“文化祭”への参加 ～将来を担う子どもたちに新しいカルチャーを～

北海道財務局の若手プロジェクトチームが、資産形成を学ぶコンテンツを企画。札幌市後援のイベント「カルチャーナイト」に参加し、高校生を対象とした講座を開催した。

概要

- 「カルチャーナイト」は、札幌市民の地域文化への関心を高め、子どもたちの健全な育成等につなげることを目的として、カルチャーナイト実行委員会（札幌市後援）が主催する、市民と企業と行政などがみんなで創る「まちの文化祭」イベント。
- 同イベントの趣旨に賛同した若手有志メンバーが「北斗七星PT」を結成し、**高校生を対象に、お金や将来のことを考えるきっかけとして、『YOMANABI 夜に学ぶお金の知識』を開催した。**
- 定員を上回る23名が参加し活発な議論を行うなど、若年層における金融経済に対する関心の高さがうかがえた。

お金のこと・将来のことを考える“キッカケ”づくりませんか？

■開催日時 **7/22(金)**
18:00～20:00
(受付時間 17:45まで)

■会場
札幌市北区北8条西2丁目
札幌第一合同庁舎2F講堂

■当日のスケジュール

- 資産形成講義【入門編】 30分
- 資産形成ゲーム 1時間30分

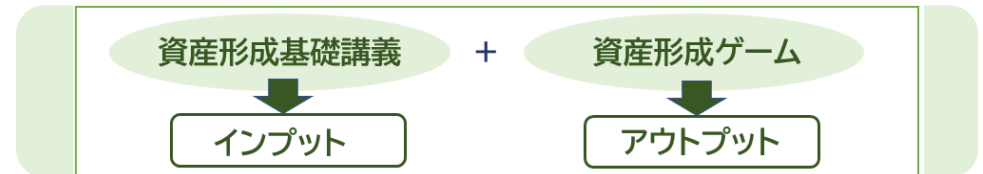
■参加募集
○高校生又は20歳以下の学生 / **20名程度**(先着順・定員になり次第締切)

ゲームで模擬投資！

CULTURE NIGHT 2022

取組の成果

- 講座は「知識の定着」と「主体的な学習」を目指した構成で、特に「資産形成ゲーム」において、**若手プロジェクトチームならではの参加者が楽しみながら株式取引の疑似体験ができる工夫を加えたことで、参加者から好評を得た。**



【参加者の声】 普段学べないことが経験できて、将来役に立つと思った

- 当該取組を通じて、参加した高校生の将来に役立つ金融知識の向上等に寄与するだけでなく、イベントの趣旨や参加者のニーズにも同時に応えることができた。



環境変化とニーズに応じた高校向けの金融経済教育

「お金」に関する内容が拡充された新学習指導要領の実施や、在学中に成人となる成年年齢引下げなど、令和4年4月から高校生を取り巻く環境が大きく変化。こうしたことを踏まえ、受講者の要望に応じた高校向けの「金融経済教育講座」を実施。

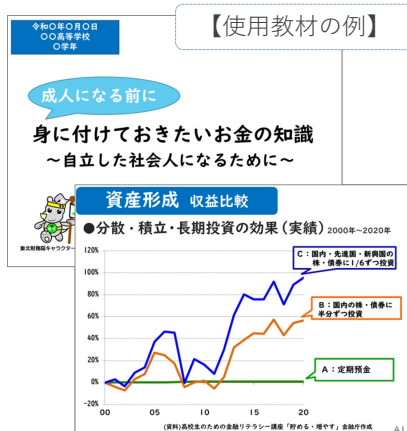
概要

○高校での「金融経済教育講座」

- 一人ひとりのライフスタイルが多様化している現代において、自分の人生設計を考え、それを実現するために必要な金融リテラシーを早い段階から身に付けることが重要。
- 特に、令和4年4月からの新学習指導要領実施や、成年年齢引下げを背景に、生徒だけでなく教員も対象とするなど、高校向けの「金融経済教育講座」の開催要望が増加。

○講座の特徴

- お金を「使う」「貯める・増やす」「守る」などのカテゴリーに分け、家計管理、安定的な資産形成、金融トラブルなどについて、身近な事例を入れる工夫を行いながら、環境変化や受講者の要望に合わせて柔軟に対応。
- ゲームやワークを取り入れ、主体的に取り組める講座を実施。



取組の成果

○高校生向け講座

- 「夢や目標を持ち、長い目線で考える資産形成」、「若者が陥りやすい金融トラブル」など身近な内容。



宮城県石巻商業高校

○家庭科教員向け講座

- 資産形成など拡充された内容への対応に不安を抱えていた教員が多かったため、宮城県の高等学校家庭科研究会が東北財務局へ講座を依頼。
- 教員の不安解消・理解醸成、高校の授業での活用を通じた金融リテラシーの底上げに寄与。



宮城県家庭科教育研究会

令和3年度実績(高校)

(生徒向け) 23校 41講座
(教員向け) -校 -講座

増加

令和4年度実績(高校)

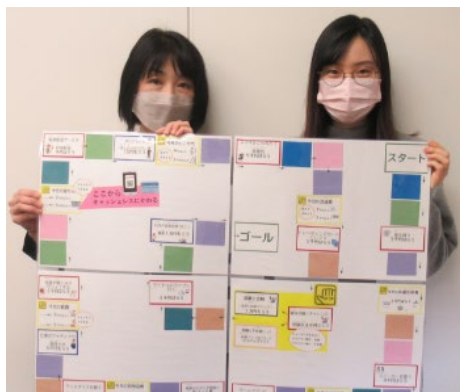
(生徒向け) 26校 45講座
(教員向け) 20校(*) 2講座
*幹事校で開催。参加校数。

金融教育が届きにくい生徒への金融包摂を踏まえたアプローチ

財務局が地域のために果たすべき役割として、不登校の生徒、特別支援学級や聴覚障害教育部門の生徒など金融教育が届きにくい層に教育を受ける機会を積極的に提供。

概要

- 不登校の生徒(保護者)、特別支援学級、聴覚障害教育部門、通信制及び定時制の生徒には金融教育が届きにくく、教員から「教え方が分からない」との声。
⇒**金融包摂の観点から、地域の財務局が、教育を受ける機会を積極的に提供することが重要。**



- すごろくを活用した教材や、文字を大きくしたり表現を分かりやすくした資料を作成するなど、工夫して実施。多重債務相談員も講座を企画し、講師を担当。

取組の成果

- 不登校の生徒を支援する認定NPO法人での取組は、生徒本人や**全国の保護者を対象とした金融教育講座の実施**など、更なる取組へと展開。

【参加者の声】

中学生「すごろくゲームがとても楽しかった」
「一人暮らしは必要な出費が多いことがわかったので気をつけたい」



高校生「債券、リボ払い、NISAなど、耳にはするが意味の分からなかった単語を少し理解できた」「貯蓄への意識も高めていきたい」「資産運用の話が面白かった」

学生の金融リテラシー向上の取組（成年年齢引き下げ対応）

成年年齢引き下げにより、大学入学時から金融に関する正しい知識・判断力が必要となっている。こうしたなか、四国財務局及び徳島財務事務所では、大学生等に基礎的な金融セミナーを実施することにより、金融リテラシーの向上に寄与している。

概要

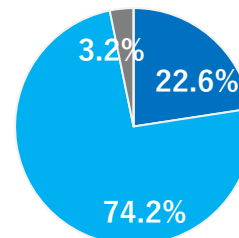
- 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、大学入学時から金融に関する正しい知識・判断力が必要となっているが、金融リテラシー調査（2022年）によると、**金融教育を受けた学生は2割弱**にとどまっている。
- 四国財務局及び徳島財務事務所では、大学、短期大学、専門学校を対象に「家計管理とライフプランニング」、「資産形成のための知識」、「金融犯罪に遭わないための知識」など、基礎的な金融セミナーを実施。



取組の成果

- 講師には、四国財務局及び徳島財務事務所の金融業務に精通した職員や、借金・金融トラブルに関する相談を受けている多重債務相談員のほか、日本貸金業協会などの関係機関の専門家を派遣し、**実例を交えた密度の高い講演**を実施。
- 金融セミナー実施後のアンケート調査では、金融知識が「大いに向上した」と「向上した」との回答が約97%を占めた。

金融知識の向上度



■ 大いに向上した ■ 向上した
■ どちらでもない ■ 向上しなかった
(アンケート結果)

【参加者の声】

- 講演内容は自分の生活に直結しており大切な内容だった。トラブルの対応方法や解決策を聞くことができ、自分なりに理解を深めることができた。
- 今まで学校で金融に関する授業はなかったが、初めてお金の使い方や金融知識に触れることができ、とても有意義だった。

高校生・大学生に「金融」×「財政」出前講座を実施

沖縄総合事務局は、学生をはじめ地域の幅広い世代へ、金融リテラシー向上のための金融経済教育の推進や財政広報に取り組んでおり、「金融」講座、「財政」講座に加え、相手方のニーズを踏まえ「金融」と「財政」をミックスした出前講座を実施した。

概要

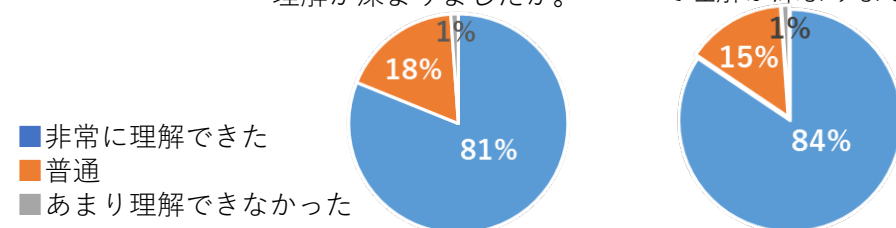
- 「金融」講座では、成年年齢引下げにかかる金融リテラシーをテーマに、クレジットカードの仕組み、利用上のメリットや留意点、金融トラブル防止策等について説明。
- 「財政」講座では、財政の役割や現状、年金や医療など身近な事例を交えて社会保障制度の意義等を説明。社会課題について様々な視点から考えることの大切さを説明。
- 令和4年度は、延べ8高校・4大学で計1,759名を対象に出前講座を実施した。



取組の成果

- 多くの学生から「財政・金融リテラシーについて理解できた」と回答があり、学生の財政・金融に対する理解向上に貢献した。

Q.「日本の財政」について理解が深まりましたか。 Q.「金融リテラシー」について理解が深まりましたか。



(事後アンケート結果の一例)

参加者の声

- ・簡単に儲かる。など、甘い言葉の裏にはその分のリスクが伴うことがわかった
- ・クレジットカードやリボ払いについて理解できた。今回の講義を受けた事で、注意すべき点を知ることができた。
- ・財政がどれだけ身近にあるのかということをもっと多くの人に実感してもらうことが必要だと思った。